



# 悪ガキに天誅

芝 伸太郎

今回は、いささか真面目な  
お話を書こうと思ひます。私  
が医学部生の頃、終盤の二年  
間、臨床実習が開始となりま  
した。学生が白衣を着て各科  
を数週間ずつ回り、同意を得  
られた患者さんの病歴を聴取  
させていただったり、その患  
者さんの教授診察に同席して、  
現場で様々なことを学び、自  
分の将来の専攻科を決めるわ  
けです。

整形外科の実習をしている時  
期、私たちの班が廊下で待機  
してしていると、向こうから松  
葉杖をついた御老人がゆっく  
りゆっくり歩いて受診に來ら  
れました。そこにたまたま、整  
形外科の受診待ちをしていた  
元氣そうな男子小学生がおり  
ました。あろうことか、その  
松葉杖にぶら下がったり引つ  
張ったりと、あまりにひどい  
イタズラを始めたのです。御  
老人は倒れそうになるのをこ  
らえるのに必死で、「頼むから、  
やめてえな」と懇願するの  
に、その悪ガキはイタズラを一向  
におぼしき女性も知らぬ顔で  
放置したまま、周囲の患者  
さんたちも見て見ぬふりで、  
私たちが白衣を着ておりまし  
たので、遠慮がちに一応は論  
じたのですが、悪ガキは完全  
に無視です。

丁度そのとき、担架に乗せ  
られた女子小学生が診察室に  
運び込まれました。その子は  
余程「痛い検査」を受ける予  
定になっていたのでしよう。  
「嫌や！あんな痛い検査はも  
うやめて！人殺し！」と絶叫  
してしまいました。その悪ガキも  
あまりの悲鳴に驚いてホカン

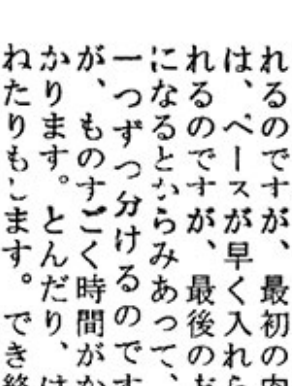


としながら女の子が診察室に  
運び込まれるのを眺めており  
ました。が、「ここぞ」とばかり  
に、私は笑顔で彼に近づき、  
「次は、お前や」。悪ガキは顔  
面蒼白となり、その場で石の  
ように固まってしまっ、よう  
やくイタズラは止ったのでし  
た。

「弱い者イジメは絶対にし  
てはならない」「社会的弱者に  
は優しくあれ」ということは、  
「自然と子供に身につく感覚」  
などではなく、「教育によつて  
たたき込まなければならない  
倫理」です。あの悪ガキは  
今頃どうしているのでしょうか。  
か。ハンデを負う弱い人々に  
対して思いやりの心を持つた  
優しい成人に育つてはいるこ  
とを、私は願わずにはおられま  
せん。

仕事の中には、テーパー  
に、散らかして、穴に入  
れるのですが、最初の内  
は、ベースが早く入れら  
れるのですが、最後の方  
になるとからみあって、  
一つずつ分けるのです  
が、ものすごく時間がか  
かります。とんだり、は  
ねたりもします。でき終  
わっても、そつと運ばな  
いといけません。そんな  
中、職員の人々が、もつれ  
たバネを一つずつ入れや  
すいようとしてくれま  
す。でも、からみあつた  
バネの事を団子三兄弟な  
んて言いつつ、楽しく  
仕事をしています。

職員の人、同僚の方に  
迷惑をかけないように頑  
張りたいと思います。こ  
れからも山本電子よろし  
くお願い致します。



山本電子さんの仕事  
は、プレートに穴があつ  
て、縦に十コ、横に十  
コバネを入れる仕事で  
す。

山本電子  
谷口 佳隆

- 寄贈品** (平成二十五年一  
月〜三月末)
- 匿名様 みかん
  - 木下悠紀子様 お菓子
  - 児島美由紀様 じゃがいも
  - 長曾 敏雄様
  - 魚、野菜、もち
  - 阪田化成工業様 お菓子
  - 小西 実様
  - テイッシュユバーハー
  - あたご電子様 缶コーヒー

河邊 里美

**コーラス大会で初めて審査  
員をして**

まず私たちは、団体のコーラ  
スで、「花嫁」を歌いました。皆ん  
な、けつこう声も出てどうだろ  
うと思つていましたが、なんと二  
位でした。何年前かに優勝してい  
らいのことであれしかつたです。  
団体が終わつて今度は、個人の部  
になり、私は初めて審査員をし  
ました。いつも個人の部は長いな  
と思つていたので、個人に十  
点満点で順位を決めるのですが、  
一人一人点数をつけるのがけつこ  
うおもしろいなと思ひながら点  
をつけていると、今回は短く感じら  
れました。私の一番印象に残つた  
歌は、ガツチャマンでした。十点  
満点なのにあまりにもうまかつた  
ので、二十点とつけてしまいました。  
「だめなのに」とあとで思ひ  
ました。すみません。でも楽しか  
つたです。

**寄付金**

木下悠紀子様  
寄贈品・寄付金 ありがとう  
ございます。

**編集後記**

今年の春は、花粉に  
悩まされ、さらには黄  
砂、PM2.5と最悪  
です。夜は鼻がつまり  
呼吸困難でグッスリ眠  
れず、朝起床すれば喉  
がからからにくつつい  
て声も出せない状態、  
目薬や鼻のスプレーを  
購入し対応していま  
すが、なかなか身体もス  
ッキリせずだるくて、  
ジョギングもやるぞ、  
という気力がはずだ  
も足が遠のきます。

